

そのメロディに魅せられて♪

きらり 藤井風 『LOVE ALL SERVE ALL』

(K1711280 篠崎ほか所蔵) 収録

私が初めてこの曲を耳にしたのは、自動車のテレビコマーシャルだった。流れていたのはサビの部分だったと思うが、軽快で気分が上がるようなメロディに惹きつけられた。

その年の紅白歌合戦で、この曲が披露されているのを目にした。ピアノの弾き語りで歌う藤井風の演奏に感動

した。以来、この曲は私のお気に入りの一つとなった。

「さらり」「ほろり」「ゆらり」「きらり」

と韻を踏んだ歌詞がリズムカルな曲調とあいまって、聴いていて心地よい。世知辛い世の中の閉塞感を吹き飛ばすような爽快感のある、魅力的な一曲である。

スタッフのセレクション!



さみしい夜にはペンを持って

古賀 史健著 ならの絵 ポプラ社 J159 コ 篠崎ほか所蔵

私はこの本を読んで、自分が今まで書いてきた日記が、「つまらない!」と気づいてしまいました。

これは、文章の書き方、特に日記についての本です。日記の書き方と言っても、難しい話ではありません。物語形式で読みやすく、ファンタジー好きな方にもおすすめです。

主人公はタコの男の子、タコジロー。クラゲたちが泳ぎ、カラフルなサンゴの森が広がる海の中で暮らしています。繊細で心優しいタコジローには、たくさんの悩みがあります。学校の友達や家族のこと、自分の容姿のこと。

そんなある日、タコジローは辛い毎日を生きてゆく為の武器を手に入れます。今までちっぽけで頼りないと思っていた自分という存在が、いかに面白く広大なのを感じられるツール、それが日記でした。

私はこれまで日記に対して「その日あったことの記録」というイメージを持っていました。しかし、本書の中で

「日記は続きが楽しい読みものだ」という著者の考え方に触れ、とても共感しました。海の中でタコジローと一緒に悩み、考え、読み終わった後には、ほんわかした安心感に包まれます。

「もし文章を書くことがつまらないとしたら、それはなぜか?どうすれば楽しくなるのか」を、優しく教えてくれる本です。特に目に見えない気持ちや考えを、ことばという道具を使って詳細にスケッチしてゆく方法がわかりやすく、ワクワクしました。

私も、これからの毎日に何が起るかを楽しみに、自分の日記を書いていきたいです。



編集後記

お出かけシーズン到来。旅行に行き、観光しながら旅ランをして体を絞りたいです。(風雲ふわふわ丸) / 体幹トレーニングを再開しました。(ばるめりん) / 春は大きな公園や庭園に行きたくなります。(すずの木) / 桃に桜に芝桜、ツツジに菖蒲に杜若、バラにネモフィラ、紫陽花も。色々な花が楽しめる時期ですね。(SPOT氏)



編集・発行: 江戸川区篠崎図書館
住所: 〒133-0061
江戸川区篠崎町7-20-19
しのぎ文化プラザ内
TEL: 03-3670-9102
[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

▶X旧ツイッター
やっています!



図書館報

ぶらっつ



篠崎

85号/2025年4月1日発行(季刊)



篠崎図書館館長が
感じたことなどを記します。

子どものとき、父がやっていたデザイン事務所のお兄さんたちとしりとりをするのが好きでした。子どもながら結構えげつなくて、「り」攻めや「る」攻めを得意としていました。

「る」攻めに対抗して「る」返しをするのに有効だったのが「ルール」という言葉でした。相手が「る」攻めをしてきたら、まずは「ルール」と返すのが常套手段でした。そんな便利な単語でしたが、相手に使われると途端にこちらが窮地に陥るこ

ともありました。

お兄さんたちは手加減をしてくれたのか、私が勝つことも多かったのですが、勝てないと、子どもであるのをいいことに、最後に「ん」がつく言葉も最後から2番目の文字を有効にすればいいとか、しりとりのルール自体をこちらが有利なように変えてしまうこともありました。

今となっては恥ずかしい、子ども時代の「ルール」に関する思い出です。

篠崎きつねからの挑戦状

右の絵と左の絵で、違うところが10か所あります。探してみてください。



ルール

私たちの生活には法律や決まりなど、
様々なルールがあります。
今回はルールにまつわる本をご紹介します。



我慢して生きるほど人生は長くない

鈴木 裕介著
アスコム
146ス
篠崎ほか所蔵

他人や社会が決めた価値観やルール。適応しすぎて「生きづらさ」を感じたりしていませんか。本書では自分のルールに基づいた自分らしい人生を取り戻す方法が繰り返し優しく説かれています。キーワードは「ラインオーバー」。今まで気づかなかったちょっとした「もやもや」の原因もわかり、腑に落ちました。



戦国大名と分国法

清水 克行著
岩波書店
322シ
篠崎ほか所蔵

分国法とは、戦国大名が制定した自身の領国の中だけで通用する法律です。それを読み解くことにより、大名達が領国経営や家臣統制などに苦労していたことが分かります。彼らの新しい一面を垣間見ることができ、戦国武将も同じ人間なんだと親近感が湧きました。



人生ゲーム COMPLETE

主婦の友インフォス
589シ
篠崎ほか所蔵

「人生ゲーム」全60種類の盤面、ルール解説、その版ならではの「面白マス」などを紹介。「矢ガモを救って表彰される」(平成版V)といった時代を感じさせるものや、「星に願いをかけたらお金が落ちてきた」というミッキーマウスの人生を歩めるものも。「図書館版」を自作してみました。



六人の嘘つきな大学生

浅倉 秋成著
KADOKAWA
Fア
篠崎ほか所蔵

最終面接に残った6人の学生に与えられた課題は「チームディスカッション」。上手くいけば全員内定が取れると、皆で協力して動いていた矢先に突然のルール変更。「誰が最も内定に相応しいか」のグループディスカッションを行うことになってしまう。お互いに疑心暗鬼になっていく彼らに怪文書まで出回り……。



残像に口紅を

筒井 康隆著
中央公論新社
BFツ
篠崎ほか所蔵

文字が徐々に消え、使えなくなっていくというルールの下に綴られた小説。本来であれば物語外で語られるであろう「ルール決め」すら物語に組み込み、時にメタ的な視点も含み進行していく。使える文字がかなり限られてくる終盤において、狭まる表現を感じさせない程に展開していく物語が見事。



ルールの世界史

伊藤 毅著
日経BP日本経済
新聞出版本部
322I
篠崎ほか所蔵

ルールとは信用・創造・普及・育成といった目的を持ち、「人の欲求を開花させるもの」だそう。そんなルールが世界中でどのように生まれて変化していったのか、噛んで含めるように説明してくれています。ルールに縛られていると感じたら、本来の目的を見失っていないか考えてみるのも良いかもしれません。



世界でいちばん素敵な物理の教室

東京大学CAST文
三オブックス
420セ
篠崎ほか所蔵

様々な自然現象の法則、物理をシンプルなQ&A形式で分かりやすく解説してくれる一冊。スキー板で雪の上に立てる理由や、傘が水をはじく仕組みなど、身近な疑問から物理法則を知る事ができます。空を飛ぶ鳥やブレーキをかけた車など、普段何気なく目にしているものもルールを知ると少し違って見えてくる気がします。



ごみを出さない気持ちのいい暮らし

高砂 雅美ほか著
家の光協会
590コ
篠崎ほか所蔵

ごみを減らすための工夫は人それぞれ。6人の女性達が自分らしく暮らしながら、楽しく続けられるマイルールを紹介しています。一見達人ぞろいで敷居が高そうですが、まずは一つだけでもトライしてみたいかがでしょうか。私は「野菜は丸ごと食べきる」に挑戦中です。



一度だけ

益田 ミリ著
幻冬舎
Fマ
篠崎ほか所蔵

「くたびれたのだった。人を当てにする生き方に、ではなく、自分をあてにできないような生き方に。」夫の浮気で離婚した姉、弥生。久しく彼氏のいない妹、ひな子。妹は旅先のブラジルで新たな出会いを求め、姉は毎日何か新しい事をするというルールで、人生を好転させようとするが……。漠然とした将来への不安に、もがく気持ちはどこか共感できる。



おそろし

宮部 みゆき著
KADOKAWA
BFミ
篠崎ほか所蔵

おちかはある事件によって心に傷を負い、三島屋に居候している。そんなおちかに、叔父の伊兵衛は自分の代わりに客人から話を聴き、その話をおちかの感想と共に自分に聞かせるという仕事を任せる——。客人たちの不思議な話に私も引き込まれました。